

7. しっかり方ほめ方編

① 子どもが育つステキな言葉

《ねらい》

- 子どもが失敗をしたり、よくない行動をしたりしたとき、子どもの心を傷つけずに子どもへ思いを伝えるにはどうしたらよいかを考え、日常生活に生かすことができるようにする。

《準備物》

- ファシリテータ：ワークシート
- 参加者：筆記用具

	時間	主な活動	発言	留意点
導入 (10)		1. 学習のねらい 今日は、子どもの心に響く伝え方について皆さんと考えてみたいと思います。その前に、ちょっとリラックスするために、簡単なゲームをしましょう。		
		2. アイスブレイク ・グループ分け ・自己紹介	アイスブレイクの例参照	・4人程度のグループに分ける。
		3. ルールとマナーの確認	P. 6参照	
展開 (35)	10	4. ワークシートに記入する。 ・子どもへの言葉かけ (ワーク1)	4. ワーク1 に2つの事例が載っています。子どもの心を傷つけてしまうような言葉かけを考えてみましょう。お互いに聞き合って感想を話し合ってください。	・自分が普段するかしないかではなく、一般的についてしまいがちな言葉を考える。
	15	5. グループで話し合う。 ・望ましい言葉かけについて (ワーク2)	5. どんな言葉を思いつきましたか？お互いに聞き合って感想を話し合しましょう。また、子どもの心に響く望ましい言葉かけをグループで考えて、 ワーク2 に記入してください。	
	10	6. グループで紹介し合う。	6. どんな言葉にきましたか。グループで出た意見を発表してください。	・抽出グループでも可
まとめ (15)	5	7. ふりかえり	7. 心に響く言葉かけではどんなことが重要でしょうか。今日をふりかえって、気づいたことをワークシートにまとめてください。	・2～3人に発表してもらおう。
	10	8. まとめ いかがでしたか。子どもの心に響く言葉かけは、感情的に叱ったり否定的な言葉を発したりするのではなく、子どもの努力やよい点をほめながら、子どもがどうしたらよいか分かるように具体的に伝えることが重要ではないでしょうか。子どもを一人の人間として接することが求められています。		

① 子どもが育つステキな言葉

子どもがよくない行動をしたときは、ついつい感情的に叱りがちです。日ごろの子どもへの接し方をふりかえり、状況に適した言葉かけをすることによって、子どもの成長を促していきませんか。

ワーク1 子どもへの言葉かけを考えてみましょう。



【幼児期～小学校低学年】近所の花だんに咲いていた花をつんでしまった。

【小学校中学年～高学年】友達が大事にしているものをとってしまった。

《つい言ってしまうがちな言葉かけ》

《望ましい言葉かけ》

【幼児期～小学校低学年】牛乳をコップに入れていたとき、こぼしてしまった。

【小学校中学年～高学年】片付けを手伝っていて、花びんを落としてこわしてしまった。

《つい言ってしまうがちな言葉かけ》

《望ましい言葉かけ》

ワーク2 子どもが失敗したときやつまずいたとき、どんな言葉をかけるのがいいのでしょうか。



ふりかえり

